

「人工知能活用による革新的リモート技術開発事業」の基本計画（案）に係るパブリックコメント募集の結果について

2021年3月12日

NEDO

ロボット・AI部

NEDO POST において標記基本計画（案）に対するパブリックコメントの募集を行いました結果をご報告いたします。
貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

1. パブリックコメント募集期間
2021年1月25日～2021年2月8日正午
2. パブリックコメント投稿数＜有効のもの＞
計 6 件
3. パブリックコメントの内容とそれに対する考え方

次ページのとおり。

ご意見の概要	ご意見に対する考え方	基本計画・技術開発課題への反映
1. 研究開発の目的 (1) 研究開発の目的 ④本プロジェクトのねらい		
[意見 1] (2件) (1) 製造業、サービス業といった括りに加え、様々なビジネスシーンや行動仕様の変革も含め極めて幅広いことをより明確にしていきたい。 (2) プロジェクト成果は、工場、社会インフラ、プラント、風車などのインフラの見守りにも適用できると考える。	労働集約的・対面主体の活動が前提の分野としておりますが、ご意見頂きましたとおり幅広い分野へ適用できることを考え、現状としても社会・経済活動のあらゆる場面で活用されることを想定した記載としております。	特になし
1. 研究開発の目的 (3) 研究開発の内容 (別紙1)		
[意見 2] (1件) 「状態推定 AI システムの基盤技術開発」と「高度な XR により状態推定 AI システムの基盤技術開発」の具体的な内容や関係性を、公募ではより明確にしていきたい。	頂きましたご意見を踏まえて進めてまいります。	特になし
[意見 3] (1件) 複数の感覚の組み合わせでなく単独の感覚についても研究開発されるべきと考える。	単独の感覚でも、画期的なものは本プロジェクトで取り組むことを想定して記載しております。	特になし
[意見 4] (2件) AI 利用する前提として、五感情報のセンシングや提示には、新しいハードウェアの開発が必要な場合がある。デバイ	ご意見頂きましたとおり、革新的な技術を扱うためデバイス開発が必要となる場合も考慮し、AIによる処理体系を具備したシステムの研究開発の中でデバイス開発	特になし

	ス開発とシステム化開発を並行して行う取組が望ましい。	が行われる場合もあると考えております。ハードウェア開発のみの研究については本プロジェクトの対象外としております。	
--	----------------------------	--	--

以上